



2021年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2020年10月30日

上場会社名 アステラス製薬株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4503 URL https://www.astellas.com/jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 安川 健司
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・アドボカシー (氏名) 藤井 郁乃 (TEL) 03(3244)3201
 &リレーション部長
 四半期報告書提出予定日 2020年11月6日 配当支払開始予定日 2020年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前 四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	615,480	△5.4	86,872	△46.4	89,091	△44.9	72,838	△43.3	72,838	△43.3	78,100	4.7
2020年3月期第2四半期	650,470	0.5	162,196	27.9	161,584	25.9	128,527	23.7	128,527	23.7	74,581	△50.4
	基本的1株当たり 四半期利益				希薄化後1株当たり 四半期利益							
	円 銭				円 銭							
2021年3月期第2四半期	39.21				39.19							
2020年3月期第2四半期	68.16				68.10							

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	2,237,016	1,329,628	1,329,628	59.4
2020年3月期	2,315,169	1,289,168	1,289,168	55.7

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2021年3月期	—	21.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,256,500	△3.4	210,500	△13.7	209,500	△14.6	169,500	△13.3	169,500	△13.3	91.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

コアベースでの連結業績予想は次のとおりです。

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		コア当期利益		基本的1株当たり コア当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,256,500	△3.4	251,000	△9.6	200,500	△10.2	107.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、会社の経常的な収益性を示す指標としてコアベースの業績を開示しています。コアベースの業績の定義につきましては、添付資料に記載しています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期第2四半期	1,861,787,075株	2020年3月期	1,861,787,075株
② 期末自己株式数	2021年3月期第2四半期	4,313,167株	2020年3月期	4,276,454株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期第2四半期	1,857,470,611株	2020年3月期第2四半期	1,885,803,749株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想及び添付資料に含まれる将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料をご覧ください。

(四半期決算補足資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

四半期決算短信の開示とあわせて四半期決算補足資料及び四半期決算説明会資料を開示しています。

また、2020年10月30日(金)に証券アナリスト・機関投資家向けに決算説明会を開催する予定です。この決算説明会の音声については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	9
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	10
(1) 要約四半期連結純損益計算書	10
(2) 要約四半期連結包括利益計算書	11
(3) 要約四半期連結財政状態計算書	12
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	14
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	16
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	17
(継続企業の前提に関する注記)	17
(企業結合)	17

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

<連結業績（コアベース^(注)）>

当第2四半期（2020年4月1日から9月30日）の連結業績（コアベース）は下表のとおりです。売上収益、コア営業利益、コア四半期利益はいずれも減少しました。

[連結業績（コアベース）]

（単位：百万円）

	前第2四半期 (2020年3月期)	当第2四半期 (2021年3月期)	増減額 (増減率)
売上収益	650,470	615,480	△34,989 (△5.4%)
売上原価	138,872	119,549	△19,323 (△13.9%)
販売費及び 一般管理費	226,067	242,135	+16,068 (+7.1%)
研究開発費	104,974	111,700	+6,726 (+6.4%)
無形資産償却費	11,200	11,550	+349 (+3.1%)
持分法による投資損益	△1,405	△268	+1,136 (-)
コア営業利益	167,951	130,278	△37,673 (△22.4%)
コア四半期利益	135,903	106,158	△29,746 (△21.9%)
基本的1株当たり コア四半期利益（円）	72.07	57.15	△14.91 (△20.7%)

(注) 当社は、会社の経常的な収益性を示す指標としてコアベースの業績を開示しています。当該コアベースの業績は、フルベースの業績から当社が定める非経常的な項目を調整項目として除外したものです。調整項目には、減損損失、有形固定資産売却損益、リストラクチャリング費用、災害による損失、訴訟等による多額の賠償又は和解費用等のほか、会社が除外すべきと判断する項目が含まれます。なお、フルベースの実績からコアベースの実績への調整表は、決算補足資料に記載しています。

【売上収益】

- ・ 主力製品の前立腺がん治療剤XTANDI／イクスタンジ、過活動膀胱（OAB）治療剤ベタニス／ミラベトリック／ベットミガの売上が引き続き増加しました。急性骨髄性白血病治療剤ゾスパタは日本と米国で伸長したことに加え、2019年11月に欧州において発売したことで売上が増加しました。加えて、2019年12月に米国で発売された尿路上皮がん治療剤PADCEVの共同販促収入が売上収益に貢献したほか、骨粗鬆症治療剤イベニティをはじめとする日本の新製品群が伸長しました。
- ・ しかしながら、欧州におけるOAB治療剤ベシケア及び日本における消炎・鎮痛剤セレコックスの独占販売期間満了、喘息治療剤シムビコート、KMバイオロジクス株式会社のヒト用ワクチン及び高血圧症治療剤ミカルディスファミリーの販売契約終了などにより、売上収益が減少しました。これに加えて、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、売上がマイナスの影響を受けました。

以上の結果、売上収益は、6,155億円（前年同期比5.4%減）となりました。

【コア営業利益／コア四半期利益】

- ・ 売上総利益は、4,959億円（同3.1%減）となりました。売上原価率は、主に製品構成の変化により前年同期に比べ1.9ポイント低下し、19.4%となりました。
- ・ 販売費及び一般管理費は、2,421億円（同7.1%増）となりました。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い営業活動等を自粛したことなどによる経費の減少がありましたが、XTANDIの米国での売上拡大に伴う共同販促費用の増加に加え、前年同期において損失評価引当金の戻入れが一過性の費用減少要因となっていたこともあり、総額として増加しました。
- ・ 研究開発費は、1,117億円（同6.4%増）となりました。新型コロナウイルスの感染拡大が一部の臨床試験の実施に影響したことによる開発費用の減少などがありましたが、重点後期開発品の開発費用の増加や2020年1月に買収したAudentes社の研究開発費が加わったことにより、総額として増加しました。売上収益研究開発費比率は、前年同期に比べ2.0ポイント増加し、18.1%となりました。
- ・ 無形資産償却費は、115億円（同3.1%増）となりました。

以上の結果、コア営業利益は1,303億円（同22.4%減）、コア四半期利益は1,062億円（同21.9%減）となりました。

【為替の業績への影響】

当第2四半期の為替レートは下表のとおりです。これらの結果、前第2四半期の為替レートを適用した場合と比べ、売上収益においては53億円の減少、コア営業利益においては65億円の減少の影響がありました。

期中平均レート	前第2四半期	当第2四半期	変動
米ドル/円	109	107	2円高
ユーロ/円	121	121	0円高

期首・期末の変動	前第2四半期	当第2四半期
米ドル/円	3円高	3円高
ユーロ/円	7円高	5円安

<連結業績（フルベース）>

当第2四半期の連結業績（フルベース）は下表のとおりです。売上収益、営業利益、税引前四半期利益、四半期利益はいずれも減少しました。

フルベースの業績には、コアベースの業績で除外される「その他の収益」、「その他の費用」等が含まれます。当第2四半期における「その他の収益」は43億円（前年同期：72億円）、「その他の費用」は477億円（同：130億円）となりました。「その他の費用」として、当第2四半期において、抗TIGIT抗体ASP8374/PTZ-201の開発中止に伴う減損損失を305億円計上したことから、コアベースの業績と比較して減益幅が大きくなりました。

[連結業績（フルベース）]

（単位：百万円）

	前第2四半期 (2020年3月期)	当第2四半期 (2021年3月期)	増減額 (増減率)
売上収益	650,470	615,480	△34,989 (△5.4%)
営業利益	162,196	86,872	△75,324 (△46.4%)
税引前四半期利益	161,584	89,091	△72,493 (△44.9%)
四半期利益	128,527	72,838	△55,690 (△43.3%)
基本的1株当たり 四半期利益（円）	68.16	39.21	△28.94 (△42.5%)
四半期包括利益	74,581	78,100	+3,519 (+4.7%)

【主要製品の売上】

(単位：億円)

	前第2四半期 (2020年3月期)	当第2四半期 (2021年3月期)	増減率
XTANDI/イクスタンジ	1,950	2,255	+15.6%
ゾスパタ	57	110	+91.9%
PADCEV	—	60	—
ベタニス/ミラベトリック /ベットミガ	788	800	+1.5%
ベシケア	251	162	△35.4%
プログラフ*	962	896	△6.9%

*プログラフ：アドバグラフ、グラセプター、アスタグラフXLを含む

- ・ XTANDI/イクスタンジの売上は、2,255億円（前年同期比15.6%増）となりました。日本、米国、エスタブリッシュドマーケット*1、グレーターチャイナ*2及びインターナショナル*3の全ての地域で売上が増加しました。
- ・ ゾスパタは日本、米国で売上が増加したことに加え、2019年11月に発売したエスタブリッシュドマーケットでの売上も貢献し、売上は110億円（同91.9%増）となりました。
- ・ PADCEVの米国での共同販促収入は、60億円となりました。
- ・ ベタニス/ミラベトリック/ベットミガの売上は、800億円（同1.5%増）となりました。米国、エスタブリッシュドマーケット及びグレーターチャイナで売上が増加しましたが、日本及びインターナショナルでは新型コロナウイルスの感染拡大の影響による受診抑制に伴う需要減などにより、売上が減少しました。
- ・ ベシケアの売上は、欧州において独占販売期間満了に伴う後発医薬品発売の影響を受けたことから、162億円（同35.4%減）となりました。
- ・ プログラフの売上は、896億円（同6.9%減）となりました。グレーターチャイナで伸長しましたが、それ以外の地域の売上が減少しました。
- ・ 日本では、イベニティをはじめ、糖尿病治療剤スーグラとスー ज्याヌ配合錠などの新製品群の売上が引き続き増加しました。一方、シムビコート、KMバイオロジクス株式会社のヒト用ワクチン、ミカルディスファミリーの販売契約終了のほか、セレコックスの独占販売期間満了が主な売上の減少要因となりました。
- ・ 米国では、新型コロナウイルスの感染拡大の影響による受診抑制に伴う需要減のため、心機能検査補助剤レキスキャンの売上が減少しました。

*1 エスタブリッシュドマーケット：欧州、カナダ、オーストラリア

*2 グレーターチャイナ：中国、香港、台湾

*3 インターナショナル：ロシア、中南米、中東、アフリカ、東南アジア、南アジア、韓国、輸出売上等

【地域別売上収益の状況】

地域別の売上収益は下表のとおりです。米国は増加、日本、エスタブリッシュドマーケット及びインターナショナルは減少しました。

(単位：億円)

	前第2四半期 (2020年3月期)	当第2四半期 (2021年3月期)	増減率
日本	1,833	1,442	△21.3%
米国	2,167	2,367	+9.2%
エスタブリッシュド マーケット	1,467	1,389	△5.4%
グレートチャイナ	294	296	+0.5%
インターナショナル	634	567	△10.5%

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、資本及び負債の状況

第1四半期において、2020年1月に買収したAudentes社の取得資産と引受負債の公正価値を修正したことにより前期末の連結財政状態計算書を遡及修正しています。その結果、遡及修正前と比較し、のれんが増加、無形資産と繰延税金負債が減少しました。なお、当該公正価値の測定は継続中です。

当第2四半期末（2020年9月30日時点）の連結財政状態計算書の概要及び遡及修正後の前期末からの主な変動は以下のとおりです。

【資産】

当第2四半期末における総資産は、2兆2,370億円（前期末比782億円減）となりました。

<非流動資産>当第2四半期末：1兆4,171億円（同305億円減）

- ・有形固定資産は、2,657億円（同29億円減）となりました。
- ・のれんは2,734億円（同49億円減）、無形資産は6,873億円（同375億円減）となりました。当第2四半期において、抗TIGIT抗体ASP8374/PTZ-201の開発中止に伴う減損損失を計上したことなどにより、無形資産が減少しました。

<流動資産>当第2四半期末：8,199億円（同476億円減）

- ・現金及び現金同等物は、2,867億円（同317億円減）となりました。

【資本】

資本合計は、1兆3,296億円（同405億円増）となり、親会社所有者帰属持分比率は59.4%となりました。

- ・四半期利益728億円を計上した一方で、剰余金の配当372億円を実施しました。

【負債】

負債合計は、9,074億円（同1,186億円減）となりました。

<非流動負債>当第2四半期末：2,905億円（同632億円増）

- ・その他の金融負債は2,035億円（同742億円増）となりました。第1四半期において、短期借入金から長期借入金へ800億円の借り換えを実施したことにより、増加しました。

<流動負債>当第2四半期末：6,169億円（同1,818億円減）

- ・当第2四半期末の社債の残高は1,840億円となりました。上述の短期借入金の長期借入金への借り換え及び返済などにより、その他の金融負債は2,057億円（同1,400億円減）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

当第2四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、1,150億円（前年同期比133億円増）となりました。

- ・ 法人所得税の支払額は62億円（同123億円減）となりました。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

当第2四半期の投資活動によるキャッシュ・フローは、△383億円（同83億円支出減）となりました。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

当第2四半期の財務活動によるキャッシュ・フローは、△1,097億円（同638億円支出増）となりました。

- ・ 長期借入れによる収入800億円があった一方、社債及び短期借入金残高の減少が1,420億円ありました。また、配当金の支払額は372億円（同13億円増）となりました。

以上の結果、当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は、2,867億円（前期末比317億円減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、連結業績予想について、コアベース及びフルベースでの業績予想を開示しています。
当期（2021年3月期）の通期連結業績予想は下表のとおりです。

コアベースの業績予想は、2020年8月に公表した業績予想を据え置き、修正していません。

一方、フルベースの業績予想は、抗TIGIT抗体ASP8374/PTZ-201の開発中止に伴う減損損失を305億円計上したことなどを踏まえ、営業利益、税引前利益及び当期利益を下方修正しています。

[連結業績（コアベース）]

（単位：百万円）

	前回予想 (2021年3月期)	最新予想 (2021年3月期)	差異	前期実績 (2020年3月期)
売上収益	1,256,500	1,256,500	—	1,300,843
研究開発費	233,500	233,500	—	224,226
コア営業利益	251,000	251,000	—	277,758
コア当期利益	200,500	200,500	—	223,178
基本的1株当たり コア当期利益（円）	107.94	107.94	—	118.95

[連結業績（フルベース）]

（単位：百万円）

	前回予想 (2021年3月期)	最新予想 (2021年3月期)	差異	前期実績 (2020年3月期)
売上収益	1,256,500	1,256,500	—	1,300,843
営業利益	246,500	210,500	△36,000	243,991
税引前利益	245,500	209,500	△36,000	245,350
当期利益	197,500	169,500	△28,000	195,411
基本的1株当たり 当期利益（円）	106.32	91.25	△15.07	104.15

[通期の想定為替レート]

2021年3月期（想定）：109円／米ドル、120円／ユーロ

2020年3月期（実績）：109円／米ドル、121円／ユーロ

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結純損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上収益	650,470	615,480
売上原価	△138,872	△119,549
売上総利益	511,597	495,931
販売費及び一般管理費	△226,067	△242,135
研究開発費	△104,974	△111,700
無形資産償却費	△11,200	△11,550
持分法による投資損益	△1,405	△268
その他の収益	7,248	4,263
その他の費用	△13,004	△47,668
営業利益	162,196	86,872
金融収益	1,336	3,445
金融費用	△1,949	△1,227
税引前四半期利益	161,584	89,091
法人所得税費用	△33,056	△16,253
四半期利益	128,527	72,838
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	128,527	72,838
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	68.16	39.21
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	68.10	39.19

(2) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期利益	128,527	72,838
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	△6,917	6,585
確定給付制度の再測定	△577	△844
小計	△7,494	5,741
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の外貨換算差額	△46,452	△479
小計	△46,452	△479
その他の包括利益	△53,946	5,262
四半期包括利益合計	74,581	78,100
四半期包括利益の帰属 親会社の所有者	74,581	78,100

(3) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	268,600	265,670
のれん	278,253	273,395
無形資産	724,773	687,306
売上債権及びその他の債権	34,014	34,019
持分法で会計処理されている投資	4,692	5,295
繰延税金資産	52,876	55,230
その他の金融資産	74,264	85,998
その他の非流動資産	10,184	10,200
非流動資産合計	1,447,655	1,417,114
流動資産		
棚卸資産	151,017	155,738
売上債権及びその他の債権	347,042	332,732
未収法人所得税	23,556	14,265
その他の金融資産	9,459	7,703
その他の流動資産	18,049	22,730
現金及び現金同等物	318,391	286,734
流動資産合計	867,514	819,902
資産合計	2,315,169	2,237,016

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資本及び負債		
資本		
資本金	103,001	103,001
資本剰余金	177,506	177,452
自己株式	△7,178	△7,311
利益剰余金	905,851	941,847
その他の資本の構成要素	109,989	114,639
親会社の所有者に帰属する持分合計	<u>1,289,168</u>	<u>1,329,628</u>
資本合計	1,289,168	1,329,628
負債		
非流動負債		
仕入債務及びその他の債務	3,142	2,748
繰延税金負債	24,670	13,950
退職給付に係る負債	38,074	40,423
引当金	6,135	4,175
その他の金融負債	129,272	203,492
その他の非流動負債	25,999	25,667
非流動負債合計	<u>227,293</u>	<u>290,455</u>
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	171,954	113,511
未払法人所得税	4,009	19,669
引当金	14,241	14,628
その他の金融負債	345,707	205,704
その他の流動負債	262,797	263,421
流動負債合計	<u>798,708</u>	<u>616,933</u>
負債合計	<u>1,026,001</u>	<u>907,389</u>
資本及び負債合計	<u>2,315,169</u>	<u>2,237,016</u>

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					新株予約権	在外営業活動体の外貨換算差額
2019年4月1日残高	103,001	177,301	△164,629	991,957	1,127	125,656
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	—	128,527	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	△46,452
四半期包括利益合計	—	—	—	128,527	—	△46,452
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	△1,187	—	—	—
自己株式の処分	—	△313	681	△247	△120	—
自己株式の消却	—	—	159,581	△159,581	—	—
配当金	—	—	—	△35,831	—	—
株式報酬取引	—	175	—	—	—	—
振替	—	—	—	△86	—	—
所有者との取引額合計	—	△138	159,075	△195,745	△120	—
2019年9月30日残高	103,001	177,163	△5,554	924,739	1,007	79,204

2020年4月1日残高	103,001	177,506	△7,178	905,851	899	93,277
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	—	72,838	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	△479
四半期包括利益合計	—	—	—	72,838	—	△479
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	△881	—	—	—
自己株式の処分	—	△444	748	△225	△79	—
配当金	—	—	—	△37,150	—	—
株式報酬取引	—	391	—	—	—	—
振替	—	—	—	533	—	—
所有者との取引額合計	—	△53	△133	△36,842	△79	—
2020年9月30日残高	103,001	177,452	△7,311	941,847	820	92,798

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				資本合計
	その他の資本の構成要素			合計	
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計		
2019年4月1日残高	23,984	—	150,767	1,258,396	1,258,396
四半期包括利益					
四半期利益	—	—	—	128,527	128,527
その他の包括利益	△6,917	△577	△53,946	△53,946	△53,946
四半期包括利益合計	△6,917	△577	△53,946	74,581	74,581
所有者との取引額					
自己株式の取得	—	—	—	△1,187	△1,187
自己株式の処分	—	—	△120	0	0
自己株式の消却	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	△35,831	△35,831
株式報酬取引	—	—	—	175	175
振替	△491	577	86	—	—
所有者との取引額合計	△491	577	△34	△36,842	△36,842
2019年9月30日残高	16,576	—	96,787	1,296,135	1,296,135

2020年4月1日残高	15,813	—	109,989	1,289,168	1,289,168
四半期包括利益					
四半期利益	—	—	—	72,838	72,838
その他の包括利益	6,585	△844	5,262	5,262	5,262
四半期包括利益合計	6,585	△844	5,262	78,100	78,100
所有者との取引額					
自己株式の取得	—	—	—	△881	△881
自己株式の処分	—	—	△79	0	0
配当金	—	—	—	△37,150	△37,150
株式報酬取引	—	—	—	391	391
振替	△1,377	844	△533	—	—
所有者との取引額合計	△1,377	844	△613	△37,640	△37,640
2020年9月30日残高	21,022	—	114,639	1,329,628	1,329,628

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	161,584	89,091
減価償却費及び無形資産償却費	31,146	35,941
減損損失(又は戻入れ)	83	34,560
金融収益及び金融費用	613	△2,218
棚卸資産の増減額	△4,583	△2,938
売上債権及びその他の債権の増減額	△6,945	17,865
仕入債務及びその他の債務の増減額	△24,507	△50,805
その他	△37,201	△328
小計	120,189	121,167
法人所得税の支払額	△18,530	△6,207
営業活動によるキャッシュ・フロー	101,659	114,960
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△16,562	△13,955
有形固定資産の売却による収入	77	22
無形資産の取得による支出	△15,819	△29,086
子会社の取得による支出	△5,078	△1,707
利息及び配当金の受取額	1,267	500
その他	△10,439	5,941
投資活動によるキャッシュ・フロー	△46,553	△38,285
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債及び短期借入金の増減額	—	△142,000
長期借入れによる収入	—	80,000
自己株式の取得による支出	△1,187	△881
親会社の所有者への配当金の支払額	△35,831	△37,150
リース負債の返済による支出	△8,199	△8,528
その他	△739	△1,177
財務活動によるキャッシュ・フロー	△45,956	△109,736
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△8,857	1,404
現金及び現金同等物の増減額	293	△31,657
現金及び現金同等物の期首残高	311,074	318,391
現金及び現金同等物の四半期末残高	311,367	286,734

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(企業結合)

当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

Audentes Therapeutics, Inc. の取得

現金による株式公開買付により、Audentes Therapeutics, Inc. は2020年1月15日に当社の連結子会社となっています。

第1四半期連結会計期間において、当該企業結合における取得日現在の取得資産及び引受負債の公正価値の測定に関して、新たな事実が判明し追加的な分析を行ったため、下記のとおり、一部の取得資産及び引受負債の暫定的な公正価値を修正しています。なお、当該公正価値の測定は継続中であるため、企業結合の当初の会計処理は完了していません。

(単位：百万円)

	前連結会計年度末の 暫定的な公正価値	その後の修正	修正後の公正価値
有形固定資産	8,964	—	8,964
無形資産	284,944	△13,723	271,221
FVTOCIの金融資産(負債性)	22,248	—	22,248
現金及び現金同等物	9,320	—	9,320
その他の資産	1,708	—	1,708
仕入債務及びその他の債務	△6,092	—	△6,092
繰延税金負債	△41,517	2,989	△38,528
その他の負債	△6,488	—	△6,488
取得資産及び引受負債の公正価値(純額)	273,085	△10,734	262,351
のれん	42,497	10,734	53,230
合計	315,582	—	315,582
支払対価の公正価値の合計	315,582	—	315,582

のれんの主な内容は、個別に認識要件を満たさない、取得から生じることが期待される既存事業とのシナジー効果及び超過収益力です。

FVTOCIの金融資産(負債性)は、要約四半期連結財政状態計算書の「その他の金融資産」に含まれています。

この修正に伴い、前連結会計年度の要約四半期連結財政状態計算書を遡及修正しています。その結果、前連結会計年度の無形資産及び繰延税金負債がそれぞれ13,734百万円及び2,992百万円減少し、のれんが10,743百万円増加しています。